



懸けの魚の虎魚（船越町）
 毎年四月二十日、船越地区の小さな入り浜で恒例の恵比寿祭りが催されます。漁業を営む集落では当たり前前の行事ですが、船越地区の場合、注目すべき特徴があります。恵比寿さまにお供えする供物の中の「懸けの魚」と称した虎魚（鰻の字も）に縄を通し、石祠の軒に懸けたものです。
 相浦漁協船越支部の末武均支部長（七十七歳）は「代々の申し伝えを守ってやっているだけで、理由は知りません」と話し、祭司をする飯盛神社（相浦）の松瀬宮司も「管内で虎魚の供物はここだけです」とのこと。
 虎魚といえは、日本民族学の泰斗（権威）、柳田国男の「山の神とオコゼ」の論文が知られています。山の神の好物がオコゼで、猟師が獲物の恵みを祈願したり、失せ物を探ねるとき、紙に包んだオコゼをチャリと見せる、という習俗です。

歴史散歩
 第513回



このよう
 な山の神伝承は全国にあり、ある地方では山の神は醜い女神さまで、それ以上に奇怪な容貌の虎魚を見せて喜ばせるためだといわれます。ともかくも、大きな毒針を持ち、恐ろしい表情の虎魚が山間の人々に珍しがられたのは事実でしょう。
 船越地区の恵比寿祭りは、猟師など山間で生活していた人たちの習俗と、その供物として珍重される虎魚、その虎魚を提供する海の漁師の関係を暗示する、貴重な伝承行事なのです。恵比寿さまは、海の豊漁・安全祈願の神から、のちには商売繁盛の神にもなります。海の幸は主食にならず、主食の米や野菜、くだものは農業の人から求めなければなりません。物々交換から金銭での取り引きへ。この物流の起こりが商業であり、海の守護神恵比寿さまがそのまま商売の神さまとなって行くのも、人々の暮らしと共にあった信仰の姿です。

筒井隆義



SASEBO

編集後記
 新しい総合計画は、取り組みごとに数値目標が書いてあり、毎年どれだけ目標に進んでいるのかが点検できようになっている。わたしも1月に「ことしは体力をつけるぞ」と、できるだけ目的地手前のバス停で降りて歩く、エレベーターを使わず階段を使用するなど計画を立てた。先日、ウォーキング大会を取材する機会があり、大して歩いてもないのに、次の日は足腰が筋肉痛。体力はついていなかったのか一常に計画通りに進んでいるのか点検することの大切さを身にしみて感じた。(Y)

元気な朝ごはんレシピ
ライスDEお好み焼き



- 材料・4人分**
- 冷やごはん 400g
 - ネギ 1/2本
 - ニンジン 30g
 - プロセスチーズ 30g
 - 卵 1個
 - 塩 小さじ3/4
 - コショウ 少々
 - 薄力粉 大さじ1
 - サラダ油 小さじ1
 - さくらえび 2g
 - お好み焼きソース 大さじ1



- 作り方**
- ①ネギは小口切りにし、ニンジンはすりおろす。チーズは1cm角に切る。
 - ②卵を溶きほぐし、塩・コショウを入れる。
 - ③②に①と冷やごはん・薄力粉を入れ、混ぜる。
 - ④フライパンにサラダ油を入れ熱し、③の両面を焦げ目が付くまで焼く。
 - ⑤皿に盛り、お好み焼きソースをかけ、さくらえびをふりかけて出来上がり!
- 1人分の栄養価▶▶熱量 240kcal、たんぱく質6.3g、脂質4.6g、塩分1.6g
 ポイント▶▶バランス良く栄養を取ることができます。残り物などで簡単に作れますよ。

考えていただいた人
 = 高口侑希(こうぐち・ゆき)さん・坂本聖佳(さかもと・きよか)さん・白石仁子(しらいし・のりこ)さん、高橋紫葵(たかはし・しき)さん、田崎琴帆(たさき・ことほ)さん(以上佐世保北中学校3年生) / 平成19年度ヘルシークッキングコンテスト・学生部門アイデア賞

情報クリップ



中心市街地活性化へ提言
 2月27日、「中心市街地活性化調査・検討委員会」(平山祐次委員長、委員27人)から朝長市長へ「佐世保らしさの再発見」や「人材育成」などを柱とした中心市街地活性化のための提言書が提出されました。これを受け本市では、今後さらに検討を進めていきます。提言書の内容は市ホームページをご覧ください。



ポートルネッサンス21計画開発事業提案選考委員会から報告
 2月28日、「ポートルネッサンス21計画開発事業提案選考委員会」(平山祐次委員長、委員10人)から朝長市長へ事業予定候補の選考結果が報告されました。昨年11月の第一段階審査では4社から2社へ絞り込まれ、今回の第二段階審査では、2社の案が対照的な特徴を持っていたことなどから、2社とも候補にするとした報告がなされました。審査結果の詳細は市ホームページをご覧ください。



愛宕市の開催
 2月22~24日、420年余り続く伝統の愛宕市が相浦町で開催され、海産物や植木、竹細工などを販売するたくさんの露店が、通りに軒を連ねました。期間中は相浦橋から相浦港までの約1キロが歩行者天国となり、沿道は多くの買い物客や子どもたちでにぎわいました。



ハウステンボスチューデーウォーク
 無窮洞や針尾無線塔など本市の名所旧跡を歩いて巡る「ヨネックスさせば・ハウステンボスチューデーウォーク2008」が、3月1~2日、チューリップなど春色の花でいっぱいのハウステンボス一帯で開催されました。参加者は延べ約3,300人で、ハウステンボス園内を歩く3キロのコースや、新西海橋などを巡る30キロコースなど6つのコースの中から自分に合うものを選び、自分のペースで歩きながら、穏やかな春のひとときを楽しみました。



ウォーキングに参加した朝長市長

